

所信

竹上 景太

【はじめに】

松阪青年会議所は1954年まちの明るい未来を見据えて高い志と使命感を持った青年により運動が始まりました。時代の移り変わりに応じながら運動は展開され、65年目を迎える今日まで途絶えることなく、不変の姿勢として受け継がれてきました。この64年間という歴史が存在するのは、先輩諸兄のひとやまちをおもう「ころ」が連綿と受け継がれてきたからこそではないでしょうか。我々の運動には自分のことだけでなく他者をおもいやり、調和を重んじて協力していく姿勢が必要不可欠であり、その姿勢の連鎖こそが強靱な組織を創り、ひとりでは成しえない大きな力を生み出す原動力になると信じています。しかしながら、近年は通信技術の発達によって物質的な充足を個々が容易に得ることができ、多くのことが自身で完結できるようになり、個人の欲求を優先した考えや、自分を中心とした価値観が広がり、ひととの繋がりが希薄な社会を生み出しているように感じます。このような時代だからこそ、“古人の跡を求めず、古人の求めしところを求めよ”という松尾芭蕉の言葉のごとく、先達の求めてきたころを我々も求める必要があるのだと考えます。我々は青年会議所の運動を通じて共に行動することで互いに支え合い人間味溢れる人格を形成し、他者から共感を得られる個の強いおもいを共鳴へと繋げることが、一人ひとりが逞しく活躍できる社会を創り、笑顔溢れる社会を形成し明るい豊かな社会の創造となるのだと確信いたします。

【指導者の育成】

指導者とは、組織に関わる一人ひとりを目指す目的へ牽引する役割があります。明確な目的を示し、行動できる目標を掲げ、組織に潜在する無限の力を引き出し行動することが重要です。また、計画を実行する上では様々な問題を目の当たりにしても仲間と共に挑戦し続け目指すべき方向へと導くことが必要になります。自らが強い意志をもって状況を判断し責任ある行動ができる力量を身に付けましょう。また、言葉だけで表現するのではなく共に行動することも忘れてはいけません。指導者として率先して動く姿勢に他者の共感が芽生え潜在的にある向上心と呼び覚ますことができますと考えます。個々に点在する力を大きなひとつの力へと変えて難題へも果敢に挑むことで組織の掲げる目標の達成を仲間と共に目指せる人財こそが、今、求められる指導者の姿であります。青年会議所での指導者育成を通じて、まちの明るい未来を見据えた主体性ある行動を促し社会に貢献できる指導者へと成長していきましょう。

【まちづくり】

我々のまち松阪は、紀伊半島の東側、中部に位置し、豊かな自然と恵まれた気候の地の利を活かした産業が発展し、歴史や文化が紡がれてきました。それは、まちへの愛着や誇りといったまちのひとの郷土をおもふ気持ちが醸成された結果であります。そのおもいを我々は受け継ぎ、さらに深化させることによってまちの未来を見据えた運動を展開していくべきであります。その為に

も、ひととの関わりを積極的に持ち、まちの文化や歴史、まちに関する事業にたくさんふれ合い、まちへのおもいを高めなければなりません。そして、ひととのふれ合いの中から、まちに対するおもいに共感し、共鳴しあえるまちを創造していきましょう。まちに潜在する郷土へのおもいを少しでも形にすることがまちのひとの喜びへと繋がり、笑顔が溢れるまちを創っていくのであると考えます。我々を育ててくれたまちへの感謝を忘れず、まちのひとが郷土をおもえるまちづくりに挑んでいきましょう。

【青少年の育成】

情報通信インフラの発達により、多くのひととコミュニケーションを図ることが容易となりました。また我々の生活は物質的にも豊かさが増し、あらゆる情報や物を自身で得ることもできるようになりました。そのような利便性が増す一方で、身近なひととの関わりが希薄になり、無意識のうちにひとを傷つけるなど、相手をおもいやるところが軽薄になっています。それは次世代を担う青少年にとって誤った成長を促すのではないかと危惧します。我々は地域の未来を担う青少年に、ひととのふれ合いによって相手をおもい助け合い行動することで、おもいやりのところを育み、優しさや逞しさのある人財へと成長することを望んでいます。身近なひとと手を取り合って積極的に行動できる人財こそがまちの明るい未来を創るには必要であると考えます。我々は青少年にまちの未来を託すべく、まちの発展に寄与できる人財として逞しく成長できる道を切り拓き、導いていく責務があります。

【同志の拡大】

松阪青年会議所は創立から64年間途絶えることなく20歳から40歳までの青年経済人が明るい豊かな社会の創造という理念のもと、まちそして、ひとをおもい、運動が展開されてきました。それは、先輩諸兄がまちの発展を願うおもいを形として残し伝承されてきた証であります。我々もその意志を継ぐ者として一人ひとりが青年会議所運動の魅力をも存分に伝えるだけでなく、体現することによって同志を拡大していかなければなりません。まちが抱える課題を解決するにはひとりでも多くの英知が必要になり、我々のおもいを推進していくにはひとりでも多くの情熱と勇気が必要になります。また我々を成長させてくれているのも同志あつてのことです。常に若々しく、活力溢れる青年会議所運動を展開する原動力は会員一人ひとりであることを認識し、互いが青年会議所の魅力を語り合い、理解し行動することが大切になります。個々が持っている青年会議所への強いおもいを行動で示し会員全員で同志の拡大に取り組んでいきましょう。

【出向者について】

青年会議所の運動は我々の住まう地域だけにとどまらず、全国各地、更には世界各国にひろがっております。文化、習慣、国を超えては言語も違う仲間が共に運動を展開しており、我々もその一員として、出向の機会を与えてもらっています。出向先では松阪にはない新たな気づきや学びだけでなく、同志との友情を深める場となり、自身へのかけがえのない財産となっていくことに間

違いありません。出向先での経験を松阪青年会議所の力になるように落とし込み、松阪青年会議所の更なる発展へと繋げていきましょう。一方で出向者が松阪青年会議所の代表として誇りをもって取り組めるよう会員一人ひとりが、気遣いや労いを忘れず共に支えていきましょう。松阪青年会議所の会員全員で出向者を支援する姿勢こそがおもいやりある強固な組織の証明となります。出向という機会を会員一人ひとりが成長の好機と捉えて全員で取り組んでいきましょう。

【65周年を迎える松阪青年会議所へのおもい】

松阪青年会議所は本年度、創立65周年の節目を迎えます。1954年の創立から今日まで、青年会議所運動が展開されてきたことは、先輩諸兄、そして松阪青年会議所の運動にご理解を頂いてきた方々の功績の賜であります。我々は青年会議所が掲げる不変の理念のもと、行動をもって残されてきた先輩諸兄の功績に感謝すると同時に、その意志を受け継ぐ覚悟をもって自らも行動することが重要になります。我々のまちへのおもいを、持ち合わせる英知と情熱を最大限に発揮し実践していくことで確かな足跡を残さなければなりません。その為にも我々の活動を振り返り、今、まちが求めるおもいと向き合いながら、我々だからこそできる若い発想と行動力をもって明るい豊かな松阪の実現を会員が一丸となって目指していく必要があります。その姿勢をもって松阪青年会議所の長きに渡る歴史と功績への感謝を表すとともに、我々の成長へと繋げ松阪青年会議所の未来を担う意志を強く示し、その歩みを進めていきましょう。

【むすびにかえて】

青年会議所が掲げる使命に対する答えには、無限の正解があります。ある法則によって導き出された決まった正解ではなく、自らが出した答えを自ら正解へと導いていかなければなりません。それ故に事業構築にあたっては自らの情熱と勇気が必要になり、それを推し進めるにあたっては会員一人ひとりの協力が励みになり、行動の加速度を増していく力となります。その過程に相手をおもいやるところの重要性に気づきがあると考えます。相手をおもい、理解し、感謝し、時には許し、諭すなど、おもいやりを様々なかたちで表現することで、仲間との信頼が深まり、組織の結束も強くなっていくのであります。そこで生まれる大きな力をもって社会貢献へと繋げ、多くのひとを巻き込む「共鳴」を起こしていきましょう。青年会議所が掲げる明るい豊かな社会を創造していくには決してひとりの力では成しえません。40歳までの限られた時間の中で会員一人ひとりが松阪の未来を切り拓く覚悟をもって共に行動していきましょう。